

Rotary 週報

第2660地区

The Rotary Club of OSAKA-WEST

大阪西ロータリークラブ

創立 昭和32年6月4日

事務局 大阪市北区梅田1丁目1番3号
大阪駅前第3ビル30階(〒530-0001)
電話 06-6348-8436 ファックス 06-6347-4556
ホームページ <http://www.osaka-westrc.org>
メール office@osakawestrc.org
例会日 毎週月曜日 12時30分
例会場 ヒルトン大阪
会場電話 06-6347-7111

会長 村上 正
幹事 島居 俊彦
会報委員会 嶋井 敬司

4つのテスト われわれがものごとを考え、言い、また為そうとする場合はこれに照合してから。
Ⅰ 真実かどうか。Ⅱ みんなに公平か。Ⅲ 好意と友情を深めるか。Ⅳ みんなのためになるかどうか。

ロータリーは機会の扉を開く

ROTARY OPENS OPPORTUNITIES

ホルガー・クナーク

No 2509 2021年3月15日 第2946回例会

本日のお知らせ

3月15日例会は時間を短縮して12:45~13:30で開催致します。

◆ R.S. 「日も風も星も」

◆ 卓話 「入会して3年が経ちました」
鈴木 聡也 君

◆ 次年度委員長会議開催
例会後13:40より、ヒルトン大阪5階ガラスルームにおいて開催致しますので、次年度理事・役員・委員長はご出席ください。

◆ 次年度S.A.A.・親睦委員長会議開催
次年度委員長会議後14:45より、ヒルトン大阪5階ガラスルームにおいて開催致しますので、次年度会長・幹事・S.A.A.・例会運営委員長・親睦委員長はご出席ください。

次例会(3月22日)のお知らせ

3月22日例会は時間を短縮して12:45~13:30で開催致します。

◆ R.S. 「日も風も星も」

◆ 卓話 「19-20年度財務報告」
西川 雅章 君
「20-21年度中間報告」
島居 俊彦 君

◆ 現次増強委員長・青少年奉仕委員長打合せ開催
例会前11:30より、ヒルトン大阪5階ガラスルームにおいて開催致しますので、ご案内しております皆さまはご出席ください。

◆ 第3回クラブアセンブリー開催
例会終了後13:40より、ヒルトン大阪5階桜園の間において開催致します。今回は、柿本 円ガバナー補佐をお迎えして、また現次年度合同の開催となります。
出席義務者 2020-2021年度理事・役員・委員長
2021-2022年度理事・役員・委員長
議題 「クラブ活動報告と次年度への引継ぎ」
* 活動計画書をお持ちください。

◆ 次年度職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕・ロータリー財団委員長会議開催
クラブアセンブリー後14:45より、ヒルトン大阪5階ガラスルームにおいて開催致しますので、次年度会長・幹事・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕・ロータリー財団委員長はご出席ください。

前例会（3月8日）の報告

◆ 前例会（3月8日）の来客者	2名
うち海外ゲスト	1名
国内ゲスト	1名

◆ 前例会（3月8日）の出席状況	
出席会員数（内13名免除会員）	58名
欠席会員	30名
出席規定適用免除会員	27名
会員総数	102名
出席率	65.91%

◆ ニコニコ箱（3月2日～8日分）

- 還暦を迎えました。 相崎 秀樹 君
- ニコニコ協力。 原田 太七郎 君
- 55才になりました。 樋口 浩邦 君
- 20年皆出席自祝。 市川 雅邦 君
- 遅ればせ乍ら誕生日自祝。 鴨谷 清三 君
- コロナ過で皆さん大変でしょうが、あともう一息です。コロナに打ち勝つ強い身体を作りましょう。 木越 正司 君
- 皆さんお元気ですか？久々のニコニコ協力です。 木村 友昭 君
- コロナの影響で例会参加できず残念ですが、ニコニコ箱には協力致します。 鴻野 眞一郎 君
- 先日は、安部会員、作野会員、養父会員、大田垣会員、たちばなにてありがとうございました。おつり、ニコニコします。 森川 晃夫 君
- 誕生日自祝として。 村上 憲二 君
- リアル例会の再開を祝して。 西川 雅章 君
- 今年初めての例会、ありがとうございます。 奥田 祐一 君
- 皆さん、お久しぶりです。 清水 美博 君
- 祝 リアル例会！ 只井 恒満 君
- 皆出席祝。 高木 健 君
- ニコニコ協力。 高士 雅次 君
- コロナセンター開業しました。 谷田 誠 君
- ニコニコ協力です。 上田 茂久 君
- 久しぶりの例会です。ニコニコ協力。 養父 豊 君

ニコニコ箱（3月2日～8日分）

クラブ・ニュース

◆ 世界ローターアクト週間にちなんで

ローターアクトでは3月は「世界RACDAY」という行事を行っています。毎年3月13日を含む1週間を、世界ローターアクト週間と指定された為で、当地区においては、この名称の行事を行っています。本年度は、ZOOM開催も視野に、東日本大震災が10年という節目であり、

今後の南海トラフ地震に備えて、防災意識と仲間意識の向上を目的とした行事を予定しております。

この週間の由来は1968年3月13日、アメリカのノースカロライナ大学において、ノースシャーロットローターアクトクラブが、世界初のローターアクトクラブとして認証された事からでした。ローターアクトが誕生してから、53年が経とうとしております。そのような歴史がある中で、現在は未曾有の事が起きております。新型コロナウイルスの蔓延です。パンデミックまで拡大したウイルスは、当地区のローターアクトにも暗い影を落とし、これまで普通に行われていた対面での例会、奉仕活動は大きく制限され、モチベーションすら奪う勢いです。しかし、当地区のローターアクトは決して負けてばかりではありません。ZOOMを駆使し例会を行っています。近くの人には会えない分、遠くの人とは会えるというコロナ禍の不思議を活かして、福岡や熊本等の他地区RACと合同例会を行ったり、遠く台湾やアメリカの海外RACとの交流例会を実施したクラブもあります。例会だけではなく、地区行事の地区連絡協議会（1月17日実施）も同様です。緊急事態宣言が発出された為に、本来であれば日本赤十字様の会議室に23クラブの会長・幹事が集まる会議が完全ZOOMでの開催を余儀なくされました。ところがRAC地区役員は事前に、開催時間を午前と午後の部に分け、午前をベテラン会長の部門、午後を新人会長の部門と編成し直しました。これによって、密を避け、効率的な会議内容となり、完全ZOOM開催にも対応できるようにしました。まさにコロナに負けず、逆境を逆手に取り、工夫を凝らした会議となりました。また、2時間30分の会議を1日で2本も実施したものであり、日頃の会長会の経験もあって、長時間にも関わらずスムーズで安定した司会進行でもありました。さらに、グループディスカッションを用いる事によって、コロナ禍で難しい各クラブの会長・幹事さんとの交流が生まれました。今後のクラブ運営に役立つ情報交換、ZOOMでの合同例会のお誘い等、有意義な結果を残すことが出来ました。このように、苦難な時期を迎えてもローターアクトは活動しております。とはいえこの新型コロナウイルスの影響は大きいものです。対面で会えない、外で奉仕事業を行えない、親睦を図れない等、様々なストレスがローターアクトのモチベーションを下げさせます。このような時だからこそ、ロータリアンの皆様の力が必要となります。

ローターアクトに、暖かい手を差し伸べてあげて下さい。ローターアクトに、寄り添ってあげて下さい。これからの日本の将来を考えた時に、ローターアクトは必要な人材を育てる重要な事業となります。

ローターアクトの誰かが言いました。「こういう逆境の中でこそ、真のローターアクトであるかどうかを試される」。何卒、今後より一層のローターアクトへのご支援を、宜しくお願い致します。

地区ローターアクト委員会 委員長 佃 啓史(守口RC)
(ガバナー月信3月号より)